

湯梨浜町の図書館情報ネットワーク

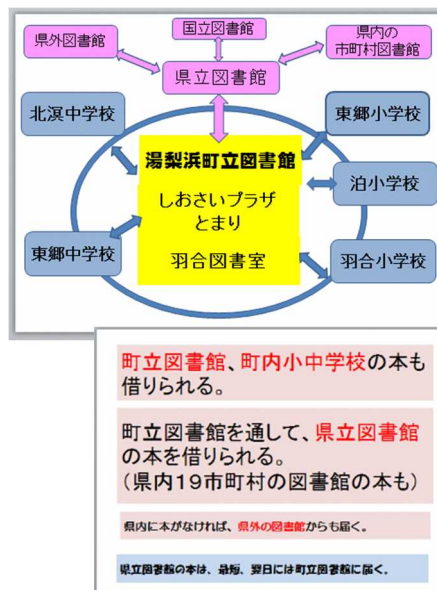
5年 社会科
「図書館情報ネットワーク」
利用指導

ねらい

- 図書館情報ネットワークは公共のサービス向上に有効に活用されていることを理解することができる。
- 学校図書館のみならず公共図書館を一層活用しようとする意欲を高める。

学習展開

- ① 教科書の「諏訪市の図書館情報ネットワーク」を読む。
- ② 湯梨浜町内の図書館情報ネットワークについて知っていることを発表する。
- ③ 自作スライドで、湯梨浜町の図書館情報ネットワークについて司書教諭の説明を聞く。
 - ・ 町内の公共図書館について
 - ・ 相互貸借のシステムについて
 - ・ 本校1年間の相互貸借の冊数
 - ・ HP利用について
- ④ 図書館情報ネットワークの便利さについて学校司書から話を聞く。
- ⑤ ワークシートに学習内容と感想をまとめる。



(使用した自作スライドの一部)

★指導のポイント

- ◆ ネットワークにより町内、県内、県外の公共図書館からも資料を貸借できる便利さに触れる。
- ◆ 個人でも公共図書館を通して県立図書館の本を借りたり、予約したりできることを確認する。
- ◆ 社会科の教科書関連ページに合わせて指導時期を学級担任と早めに相談し資料を準備しておく。
- ◆ HP画面での具体的な検索や予約の仕方を見せる。

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭は学級担任と相談して、社会科の教科書にそって町内の図書館システムについてのスライド資料を作成する。
- 事前に1年間の相互貸借の冊数などを確認し、スライドの中に資料として入れておく。
- 学校司書は、ネットワークが構築されていない頃の不便さや現在ネットワークをどのように利用しているかを説明できるようにしておく。

資料

現在、学校図書館で借りている町立図書館の資料や県立図書館の資料（学習で使用する本やパンフレットなど）、学校図書館にはない資料の現物（大型絵本、マルチメディアデージー図書、ＬＬブック、点字図書、拡大図書、英語絵本など）